

# 外国人住民と地域住民がつどい、共に輝くまちづくり

松江市朝日公民館

## 1 朝日公民館の概要

朝日地区は市内の中心部に位置し、明治以降、松江駅ができて急速に発展してきた新しいまちで、人口約 4,400 人、世帯数約 2,200 世帯の地域である。マンションの建設や大型店の進出が続き、便利な地域になった反面、地域のつながりが希薄になった。朝日公民館は、昭和 35 年に開設、平成 7 年に現在の松江市立第三中学校の複合施設として新館が竣工し、薄れがちになった人間関係を取り戻すため地域が一体となって、様々な取組を推進している。

## 2 事業の概要

### (1) 事業のねらい

外国人と地域の人たちが安心して、生きがいを持って暮らすことができるまちづくりを推進する。

### (2) 具体的な取組（内容、活動状況等）

#### ア 会議

地域力醸成実行委員会 2 回開催  
ボランティア打ち合わせ会議 4 回開催

#### イ ボランティア研修会

10 月～11 月 しまね国際センター主催研修会に参加 3 名  
年 4 回 講師 宮川澄子氏（しまねっ子代表）  
9 月 御館久里恵氏指導（鳥取大学 講師）

#### ウ 外国人住民のための日本語教室「あさひ日本語ひろば」

月 3 回土曜日（午前 10 時～11 時 30 分）年間 36 回開催（予定）

学習形態は、テキストを使用せず会話中心で、地域の人との交流が深められるような活動をした。

外国人住民 登録者数 13 名（中国 2 名、韓国 2 名、フィリピン 9 名、ナイジェリア 2 名） ボランティア登録者数 16 名

(ア) テーマを決めて会話、漢字学習、作文、感想発表等

(イ) 松江の食を学ぶ(調理実習)



6 月 ちまきづくり



11 月 抹茶・ぼてぼて茶体験教室



12 月 交流そばづくり体験

(ウ) 日本の行事を学ぶ



6月 七夕



2月 節分

(エ) 松江・島根の文化を学ぶ

- 8月 松江水燈路の手作り行灯作りに参加
- 10月 書道体験
- 3月 まがたまづくり体験・出雲大社見学（予定）



松江水燈路の手作り行灯



書道体験

オ 地域交流活動等

- 8月 朝日まつりに参加し、地域の人と交流した。
- 10月 朝日文化祭に参加、行灯・書道の展示
- 11月 呉日本語教室や松江の他教室との交流会

朝日まつりに参加



## 朝日文化祭に参加



朝日文化祭の準備ボランティアに参加



水燈路の行灯や書道作品の展示

## 呉日本語教室等との交流会



あさひ日本語ひろばの活動発表

### 3 事業の成果と課題

- (1) 外国人にも、地域の人にもほっとする広場となってきた。呉日本語教室との交流会で、「松江で一番好きな場所はどこですか？」という質問があったときに、あさひ日本語ひろばのほとんどの学習者が「ここ（朝日公民館）です。」と答えてくれたことは、あさひ日本語ひろばが外国人住民にとってとても大切な場所になっていることを改めて認識した。
- (2) 外国人住民が地域活動に参加したことで、地域の人との交流を持つことができた。文化祭では、当日お客さんとしての参加だけではなく、事前の準備ボランティアとしても参加した。今後も、ボランティアされる側だけでなく、ボランティアする側として活動することで地域とのつながりがより深くなっていくよう支援したい。
- (3) 外国人住民の参加人数が少ない。

## ボランティアさんの感想（1月26日）

近くの公園にお花見に行ったり、行灯を作ったり、書道の体験では初めて筆を手に墨をたっぷりつけて文字を書くことの難しさに四苦八苦、何度も何度も書き直しようやく出来上がった作品を朝日文化祭に展示しました。

そして、呉市の日本語教室の皆さんと交流会をしました。歌を歌ったり、プロジェクターを使って母国の紹介をしたり、活動の様子を話したりしました。また、あさひ日本語ひろばのボランティアさんが松江独特の「ぼてぼて茶」のお点前の指導をしました。外国人住民や呉市からこられたボランティアの皆さんも興味津々「変わった茶筌を使うんですね」「お茶の中に黒豆や沢庵などが入っているよ」等々賑やかなひと時、これが私達が目指している『地域の文化を語り皆が共存できるまちづくり』そのものではないかなと感じています。

とにかく外国人というだけで「言葉が通じない」「苦手」というイメージを持ち易いのですが身振り、手振りそして笑顔、真心があれば気持ちは伝わるということ「あさひ日本語ひろば」に関わって確信いたしました。

外国人は一つでも多くの言葉を覚えたいと一生懸命です。私たちが外国を旅して「現地の人と話せたらもっと色々なことを知ることができただろうに」と感じるくらいですから外国から縁あって日本に来て生活するとなると思いは一層強く真剣そのものです。

月に3回ではありますが少しでもお役に立てたらと、公民館に集いお手伝いをさせて頂いています。グループに分かれて活動をしているとあちこちで歓声が上がったりすると嬉しくて又頑張ろうという気持ちが強くなります。

まだまだ未熟な私達ですが「あさひ日本語ひろば」が継続できるようこれからも切磋琢磨していきたいと気持ちを新たにしています。

### 4 今後の方向性

- (1) 「あさひ日本語ひろば」は学習者やボランティアから継続してほしいという要望が強いため、今後も継続して開催したい。
- (2) ボランティアや外国人学習者も意見を出し合い、参加者の要望に沿った学習プログラムをつくり、生きがいくりにつなげたい。
- (3) 在住外国人に対する地域住民の理解を深めるために、たよりやHP等広報活動をさらに充実していきたい。